

●イベントインフォメーション 2025年9月

サンプロ アルウィン（総合球技場）	
6(土)	皇后杯JFA第47回全日本女子サッカー選手権大会北信越大会 1回戦
13(土)	18:00KICK OFF(予定) 2025明治安田J3リーグ 第27節 松本山雅FC vs アスルクラロ沼津
14(日)	皇后杯JFA第47回全日本女子サッカー選手権大会北信越大会 決勝
21(日)	北信越O-35/45/55カップサッカー大会長野県大会 決勝
28(日)	13:00KICK OFF(予定) 2025明治安田J3リーグ 第29節 松本山雅FC vs 栃木SC

芝生グラウンド	
6(土)	第104回全国高校サッカー選手権長野県大会 2回戦 ① 10:00～ ② 12:15～
7(日)	皇后杯JFA第47回全日本女子サッカー選手権大会北信越大会 準決勝
20(土)	高円宮杯JFA U-18サッカーリーグ2025長野県リーグ1部 第13節 11:00～ 松本第一高校 vs 松商学園高校 13:30～ 市立長野高校 vs 東京都市大塩尻高校
21(日)	10:45KICK OFF(予定) 第51回北信越フットボールリーグ Div.2 第14節 アンテロープ塩尻 vs FCマツセロナ

補助競技場	
5(金)～7(日)	2025年度長野県高等学校新人体育大会 陸上競技 中信/南信大会
23(火・祝)	令和7年度長野県中学校新人体育大会 陸上競技 中信地区大会
28(日)	第66回塩尻市民スポーツ祭夏季大会

球技場	
6(土)	皇后杯JFA第47回全日本女子サッカー選手権大会北信越大会 1回戦
13(土)	高円宮杯JFA U-18サッカーリーグ2025長野県リーグ2部 第12節 10:30～ 2部B 上田高校 vs 松本県ヶ丘高校 12:30～ 2部A 上田西高校2nd vs 赤穂高校
15(月・祝)	JFA U-15女子サッカーリーグ2025北信越 第12節 10:30～ AC長野パルセイロ・ジュヴェスター vs 坂井フェニックスレディース 12:30～ TopStoneRosetta U-15 vs SOLTILO SEIRYO PEL FC 14:30～ 松本山雅FCレディースU-15 vs 北陸大学フィオリーレ
20(土)	高円宮杯JFA U-18サッカーリーグ2025長野県リーグ3部 第13節 10:30～ 3部C 松本美須々ヶ丘高校 vs 豊科高校 12:30～ 3部B 須坂創成高校 vs 飯田OIDE長姫高校
21(日)	JFA第30回全日本U-15女子サッカー選手権大会 長野県大会 1回戦
27(土)	高円宮杯JFA U-18サッカーリーグ2025長野県リーグ2部 第14節 10:30～ 2部B 松本国際高校2nd vs 松本県ヶ丘高校 12:30～ 2部A 松本第一高校2nd vs 上田西高校2nd
28(日)	JFA第30回全日本U-15女子サッカー選手権大会 長野県大会 準決勝

体育館	
6(土)・7(日)	松本小学生バレーボール連盟 第24回松本錬成大会
13(土)	〈ハンドボール〉中信強化リーグ
21(日)	信州まつもとソフトバレーボール連盟 県大会
28(日)	〈ソフトバレーボール〉ぐれ〜ぶカップ in 塩尻

やまびこドーム	
13(土)・14(日)	NBSグッドライフフェスタ (同時開催:まつもと軽まつり／パリアリマルシェ) 13日 10:00～17:00／14日 10:00～16:00 入場無料
20(土)・21(日)	リレー・フォー・ライフ・ジャパン信州まつもと 20日 12:00 ～ 21日 12:00

※上記の内容は主催者の都合等により変更または中止になる場合があります。何卒ご了承ください。

編集後記

お盆を過ぎてても相変わらず暑い日が続いています。それでも朝晩は少し肌寒いくらいの日もあり、夜風の涼しさや庭で鳴く虫の声などいろいろなところで秋の気配を感じるようになりました。

9月もしばらくは残暑が続きそうですが、熱中症に気をつけつつ、スカイパークに小さな秋を探しにお出かけください。

所長のひとりごと

まだまだ日中は暑い日が続いていますが、朝夕には涼しい風が吹き、園内の木々も少しずつ色づき始めてくる時期です。今年も猛暑でした。植物も人も少し疲れ気味だったことでしょう。これからは、散歩やジョギングに最適な季節です。スカイパークまでお出かけしてみたいはいかがでしょうか。

サンプロアルウィンでは J リーグ、体育館では各種競技会が開催予定となっています。試合で躍動する選手の姿を見ているだけでも元気をもらえますね。やまびこドームでもイベントの開催が予定されており皆様で楽しんでいただけることと思います。

日がだんだん短くなり、夕暮れの景色も日ごとに変わっていきます。皆さまのご来園を心よりお待ちしております。

また次回「ひとりごと」でお目にかかれるのを楽しみにしています。

TOY BOX

9月のボランティア活動スケジュール

🌸花守りの会

🌱 6日(土) 9:00～11:00

【第8回】ヒマワリ片付け@野と花のゾーン  6号駐車場

*天候等により予定を変更または中止する場合があります。

季節の花や風景、イベント・大会などなど、スカイパークの“旬”の情報を発信！信州スカイパーク公式SNSもぜひチェックしてくださいね。



Instagram



X (旧 Twitter)



【発行】
長野県松本平広域公園指定管理者
(株)TOY BOX 信州スカイパークサービスセンター
〒390-1243 長野県松本市神林 5300
松本平広域公園総合球技場（サンプロアルウィン）内
TEL. 0263-57-2211 FAX. 0263-57-0444
e-mail info-skypark@toybox-net.jp
URL https://shinshu-skypark.net/



vol.234

🌙イチ特集
スカイパークと
防災のはなし

今年の夏は本当に暑かったですね。信州スカイパークのある松本市では梅雨明け前から真夏日が続き、日中の最高気温が 35℃を超える猛暑日も少なくありませんでした。全国的にもこれまでにない暑さに見舞われ、8月5日には群馬県伊勢崎市で最高気温 41.8℃を記録、国内での過去最高気温を更新しました。立秋を過ぎて厳しい暑さは一旦落ち着いたようですが、9月も残暑が続くとの予想もあり、まだまだ気が抜けません。それに加え今年はトカラ列島での群発地震やカムチャツカ半島の大地震による津波、また各地で集中豪雨やゲリラ豪雨などが多発し、道路の冠水や土砂崩れなどが起きています。折からの異常気象、そして、かねてから発生が心配されている南海トラフ地震などの大規模地震による災害は他人事ではなくなってきています。自分が住んでいる地域の災害リスクを把握すること、食料や水、非常持ち出し品などを準備しておくこと、住まいの耐震強度を把握・対策をしたり家具の転倒防止策を講じるなど、普段からいざという時のために備えておくことが大切です。

今月は、スカイパークとも関わりのある防災についてまとめてみました。

皆さんは災害への備え、できていますか？



秋空のサンプロアルウィン
2024.9月撮影

災害発生時には重要な役割を担う

広域防災拠点としての信州スカイパーク



長野県のほぼ中央、松本市と塩尻市の境に位置する信州まつもと空港（県営松本空港）。その周りをぐるりと囲むように整備された長野県下最大の都市公園、信州スカイパーク

（松本平広域公園）。何となく飛行機を思わせる形の広大な敷地は南北に約 3.6km、東西は最大で約 1km あり、その面積は 141.6ha（東京ドーム約 30 個分）に及びます。緑豊かな敷地の中にはサッカー Jリーグ松本山雅 FC のリーグ戦などの試合が行われる球技専用スタジアム「サンプロアルウィン」（総合球技場）を始め、さまざまなイベントやスポーツが行われるやまびこドームや体育館、2028 年に開催される信州やまなみ国スポ・全障スポ（第 82 回国民スポーツ大会・第 27 回全国障害者スポーツ大会）に向けて建設中の新陸上競技場などの施設の他、広い園内を1周する全長約 10 kmの周回コース「信州スカイロード 10」やサイクルセンター、遊具、水辺など子どもから大人まで楽しめるスポットが集まった公園です。

9月1日は「防災の日」

日本では9月1日を「防災の日」、その前後の1週間（8月30日から9月5日まで）を「防災週間」と定め、毎年この期間には災害への備えや防災意識を高めるための啓発活動などが行われています。学校や職場などで地震や火災を想定した避難訓練を行った経験のある方も多いと思います。

防災の日が制定されるきっかけとなった出来事が、1923（大正 12）年9月1日（土）に発生した関東大震災です。この日の午前 11 時 58 分、相模湾北西部を震源とするマグニチュード 7.9（推定）の大地震が発生し、関東地方ほか広範囲で強い揺れを観測しました。これにより東京や横浜を中心に家屋の倒壊や火災が、また各地で崖崩れ、液状化現象や津波などが引き起こされ、約 10 万5千人もの死者・行方不明者が出る大災害となりました。

これほど人的被害を大きくした原因は火災でした。地震発生時刻が昼食時だったため多くの家庭で火が使われており、人口が密集する地域では倒壊した家屋などから次々に火災が発生、これが延焼して大規模な火災となり多くの人が巻き込まれました。この震災の犠牲者の9割は火災により亡くなったと言われています。

防災の日は、日本の首都圏に甚大な被害をもたらした関東大震災の教訓を生かすとともに、このような災害に備えることの重要性を再認識する大切な日となっています。



普段はさまざまなスポーツ・レジャーを楽しんだり、北アルプスを望む雄大な景色や季節の花々を愛でながら過ごせる憩いの場として親しまれていますが、いざ大きな災害が発生した時には被災地域へのさまざまな支援を行うための拠点としての役割を担うという大変重要な一面を持っています。



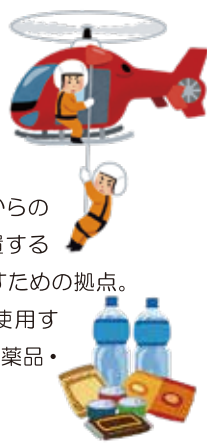
「広域防災拠点」とは？

大規模災害が発生した際に被災地域への救援物資の輸送・集積や分配を行ったり、各地から派遣される支援部隊等の一時集結・宿泊・休憩などを行うベースキャンプとして、航空機を活用した災害医療支援、また支援活動に必要な物資を備蓄し、都道府県や市町村などをまたいだ広域的な災害救助・支援活動を行うための拠点となる場所のことで、主に公園などのように広い敷地面積（概ね 50ha 以上）があり、浸水や土砂災害などのリスク、主要道路や航空拠点・ヘリポートなどへのアクセスの良さなどを考慮して選定されます。



* 長野県では「長野県広域受援計画」において「広域防災拠点（案）」としてその役割を大きく5つに分けて定義しています。

- ① 進出拠点…広域応援部隊などが被災地域に向けて移動する際の目標となる拠点。
- ② 救助活動拠点…各部隊が被災地域で活動する際の後方支援拠点。
- ③ 航空搬送拠点…航空機による医療搬送の拠点（空港・ヘリポートなど）。
- ④ 広域物資輸送拠点…国や他地域などからの支援物資を受け入れ、各市町村が設置する地域内輸送拠点や避難所などに送り出すための拠点。
- ⑤ 備蓄拠点…被災者や広域防災拠点を使用する応援部隊などに提供する水・食料・医薬品・応急復旧用資機材を備蓄している拠点。



信州スカイパークの敷地及び一部施設は主に救助活動拠点として、やまびこドームは広域物資輸送拠点として、隣接する信州まつもと空港（県営松本空港）は航空搬送拠点としての活用が想定されています。また、園内の陸上競技場北側には備蓄拠点としての防災備蓄倉庫があります。

スカイパーク周辺では、「防災道の駅」にも指定されている小坂田公園（塩尻市）などが広域防災拠点となっています。



*長野県公式サイト 防災・安全＞防災計画＞「長野県広域受援計画」より <https://www.pref.nagano.lg.jp/bosai/kurashi/shobo/kekaku/kouikijuen.html>

もしもの時に備える

国土の約7割を山地が占め、周囲を海に囲まれた日本は古くから地震、津波、台風、豪雨、洪水などさまざまな災害を経験してきました。近年においても阪神・淡路大震災（1995（平成 7）年 1 月 17 日）や東日本大震災（2011（平成 23）年 3 月 11 日）を始め、台風、豪雨、火山の噴火など大きな被害をもたらす災害がたびたび発生しています。昨年1月1日に発生し、珠洲市や輪島市など広範囲にわたり大きな被害をもたらした能登半島地震は記憶に新しいところです。

周囲を山に囲まれ、その多くを山間地などが占める長野県も地形的・地質学的にさまざまな災害のリスクと無縁ではありません。県内には糸魚川・静岡構造線断層帯を始め多くの断層が

走り、浅間山、御嶽山、焼岳などここ数十年の間に噴火や水蒸気爆発等を起こしている火山が存在します。近年増加してきている集中豪雨なども大きな災害を引き起こす原因となっています。



地震や津波、噴火、風水害など、自分が住んでいる地域はどんな災害のリスクがあるのかを知り、避難場所や経路、家族との連絡手段や集合場所を確認したり、非常持ち出し品の準備や水・食料の備蓄などの備えをしておくことが、いざというときに命を守り被害を抑えることに繋がります。

災害が起きる前にできること

● 非常用持ち出し品の準備

自宅からの避難を余儀なくされた場合に備え、最低限の水や食料、貴重品、常備薬や持病薬、ラジオ、また懐中電灯やヘルメット、雨具など安全に避難するためのグッズをすぐ持ち出せる状態にして用意しておきましょう。



● 水や食料などの備蓄

大きな災害が発生すると電気・水道・ガスなどのライフラインがダメージを受け、復旧に時間がかかる場合があります。また交通網などの混乱により食料・生活用品などの物資も不足することが考えられるので、非常食などを備蓄しておくことも重要です。最低でも3日分（水は1人につき1日3リットル必要）、できれば1週間分がそれ以上を備蓄しておくことが望ましいです。普段から使っているもので日持ちのする食品や生活用品を少し多めに買って置き、消費期限の近い物から消費していくローリングストックは、普段の買い物の範囲でできるので取り入れやすいかもしれません。



● 家の耐震診断、家具の転倒防止策や配置の見直し

過去の大地震では大きな揺れにより家屋が倒壊したり、転倒した家具の下敷きになったり避難経路がふさがれるなどして大勢の方が犠牲になっています。自宅の耐震強度を調べ、必要なら補強をしたり、家の中の家具が転倒しないよう固定する、ベッドの近くや出入口をふさぐ可能性のある場所には家具を置かない、また食器棚などは中身が飛び出して散乱しないよう扉にストッパーをつけるといった対策をしておきましょう。



● ハザードマップで地域の災害リスクや避難所などを知る

自治体などが作成、提供しているハザードマップには風水害の際の浸水や崖崩れ、想定される大地震の際の震度、また避難場所などさまざまな情報が掲載されています。自分が生活している地域の災害リスクなどを把握しておくことが災害発生時の行動の指針にもなります。



● 避難経路、家族との連絡方法や集合場所などの確認

災害が発生した時、家族全員が同じ場所にいるとは限りません。避難場所や連絡方法、また家のどこに備蓄品や非常持ち出し品、その他必要なものがあるのかなどを家族で話し合っ決めてたり情報を共有しておくことが大切です。

スカイパーク NEWS

猛暑の夏休み 南管理棟で恒例の七夕まつり開催

8月3日（日）、ファミリースポーツゾーンの南管理棟にて恒例の七夕まつりを開催しました。松本では日中の最高気温 36.5 度を記録する猛暑日となりましたが、夏休み中の親子連れなど大勢の方が訪れ、涼しげなスーパーボールすくいや射的、手作りスライム教室などを楽しみました。ホールに配置した笹にはさまざまな願いごとが書かれた色とりどりの短冊が飾られ、真夏のスカイパークの一角を鮮やかに彩りました。

